

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等理科指導法			17673	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

小学校理科の教育目標と指導方法を修得すること。また、自然科学の知識を習得し、指導計画の作成や学習指導のあり方について実践を通して学び、理科の授業作りの基礎を培うことを目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自立）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

小学校理科学習指導要領の教科目標および学年目標や指導のあり方を把握する。生物・物質・地球を中心に具体的な内容を取り上げ、指導力、応用力を養う。指導案作成や模擬授業を通して、実践力を育成していく。

授業の方法

自然科学について興味関心をもてるよう具体的な事例を多く取り上げ、自作の資料やデジタル教材を使って講義をしていく。さらに、自分の考えを発表したりしながらディスカッションを深めていく。

準備学修

WEBで参照すること

課題・評価方法

平常点50%定期試験50%

欠席について

規則に従う

テキスト

文部科学省 小学校学習指導要領解説理科編（東洋館出版社）

参考図書

必要に応じて紹介する。

留意事項

理科学習が楽しいと感じられるよう、具体事例を挙げながら授業を進める。出席と学習態度を重視する。日頃から自然科学に関する報道等に関心をもつこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等生活科指導法			17677	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
東内 則子	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

- 生活科誕生の背景や経緯について理解する。
 - 生活科の目標を知り、他教科と違う特質について理解する。
 - 学習展開の基礎となる内容構成やそれぞれの内容の持つ役割について理解する。
 - 内容の組み合わせによる有効な単元活動や指導計画を探る。
 - 各内容を通して他教科や道徳との関連的な指導方法を理解する。
- このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

低学年の子どもにとって極めて重要な役割を果たす生活科。その、誕生の経緯や特質を理解するとともに学習を展開するうえでの基礎となる内容構成や指導計画の工夫について理解を深める。

授業計画

- オリエンテーション 「私が学んだ生活科」レポート
- 各自の生活科へのイメージの違いと学びの格差
- 生活科誕生の背景・生活科とはどんな教科か
- 生活科の目標（生活科の抱える課題と新指導要領のねらい）
- 生活科の内容（内容構成と階層性）
- 生活科の内容1 「学校と生活」
- 内容2 「家庭と生活」内容3「地域と生活」
- 内容4 「公共物や公共施設の利用」道徳との関連を考える
- 内容5 「季節の変化と生活」
- 内容の関連付けの意義を知り年間計画を考える
- 内容6 「自然や物を使った遊び」
- 内容7 「動植物の飼育・栽培」内容8「生活や出来事の交流」
- 内容9 「自分の成長」生活科の評価方法
- 学習指導案づくり
- 模擬授業
- テスト

授業の方法

テキストによる講義を行うとともに、ワークショップやディスカッションを織りまぜながら理解を深める。授業の初めは、身近な植物の観察「知っておきたい身近な植物」を

行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は2点減点し、遅刻は1点減点とする。

テキスト

文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」